エトフェンプロックス乳剤 トレボン EW

取扱メーカー: 北興, 琉産

原体メーカー: 三井アグロ

成分:エトフェンプロックス「ピレスロイド系 PRTR・1種] …10.0%

性状:類白色粘稠乳濁液体

毒性:普通物 消防法:-

- ●水中に有効成分を乳化分散させた製剤。有機溶 剤臭が少なく扱い易い。
- ●作物への付着性が高く、効果が持続する。
- ●水稲・野菜・花き・樹木に幅広い登録を持つ。 また休耕田でのカメムシ防除や乗用液剤少量散布 機での処理にも対応している。
- ●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一 覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- ●ねぎのシロイチモジヨトウの防除に使用する場 合は、食入前の若令幼虫期に散布する。
- ●本剤を本田の水稲に対して希釈倍数300倍で散 布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型 の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用する。

【薬効・薬害等の注意】 …………

●使用前には、容器をよく振ってから使用する。

【安全対策上の注意】 …………

- ●誤って飲み込んだ場合は吐き出させ,直ちに医 師の手当てを受けさせる。
- ●眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう 注意する。 眼に入った場合は直ちに水洗し、眼 科医の手当を受ける。使用後は洗眼する。
- ●共通注意事項6. 街路・公園・堤とう等で使用 する場合の注意を参昭。
- ●共通注意事項7 ミツバチに対する注意事項を 参昭.
- ●共通注意事項8 適用作物群に対する注意事項 を参昭。
- ●甲殻類、冷水魚に影響を及ぼすので、河川、養 殖池等に飛散,流入しないよう注意して使用する。 養殖池等周辺での使用はさける。なお、比較的低 濃度でも魚が平衡失調を起こすおそれがあるので 十分注意する。









作物名	適用場所	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	エトフェンプロックスを 含む農薬の総使用回数
稲		ウンカ類 ツマグロヨコバイ イナゴ類 イネドロオイムシ カメムシ類 イネミズゾウムシ コブノメイガ	1000 倍 300 倍	60 ∼ 150 ℓ	14日前 まで	3回 以内	2回以内 2回以内 3以内 2回内 3以内 4回以 3以内 4回以 3以内 4回以 3以内 4回以 3以内 4回以 3以内 4回以 5以内 8以内 8以内 8以内 8以内 8以内 8以内 8以内 8以内 8以内 8	3回以内
		ウンカ類 ツマグロヨコバイ		25 ℓ				
小 麦				60 ~ 150 ℓ		2回 以内		2回以内
ばれいしょ		アブラムシ類			7日前 まで	3回 以内		3回以内
だ い ず え だ ま め さやえんどう 実 えん ど う		マメシンクイガ ハスモンヨトウ カメムシ類 ウラナミシジミ シロイチモジヨトウ			14日前 まで 前日 まで	2回 以内		2回以内
すいかメロン		アブラムシ類			3日前 まで	3回 以内 4回		3回以内4回以内
ション きゅうり な す		コナジラミ類 アブラムシ類			前日	以内 3回 以内		3回以内
トット		コナジラミ類			まで	2回 以内		2 回以内
キャベツ はくさい だいこん		アブラムシ類 ヨトウムシ アオムシ	1000倍	100 ~ 300 ℓ	7日則 まで 21日前 まで	3回以内		3 回以内
ね ぎ		シロイチモジヨトウ				2回 以内		2 回以内
レタス		アブラムシ類			14日前 まで	3回以内		3 回以内
エンサイ		イモコガ				2回 以内		2 回以内
てんさい		ヨトウムシ				3回 以内		3 回以内
う ど		アブラムシ類			根株養 成期 但し, 収穫 45日 前まで	2回以内		2 回以内
き く 宿根かすみそう		シロイチモジヨトウ			_	6 回 以内		6 回以内

作物名	適用場所	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	エトフェンプロックスを 含む農薬の総使用回数
たであい	ヨシ、オ	アブラムシ類 ハスモンヨトウ	1000 倍	100 ∼ 300 ℓ	_	6回以内	. 散布	6 回以内
樹 木 類 (つつじ類, いぬまきを除く) つ つ じ 類		ケムシ類	2000 倍	100 ∼ 700 ℓ	発生初期			
いぬまき		ツツジグンバイ モンアシブトゾウムシ ケブカトラカミキリ	1000 倍 2000					
		ケムシ類	倍					
水 田 作 物, 畑 作 物 (休耕田)	ギキタダ等生優い田がて耕る。	カメムシ類	1000 倍	60 ~ 150 ℓ	_	3回以内		3 回以内